

# News Release



令和5年9月28日

各報道機関文教担当記者 殿

## “魔の7歳”の事故削減のため、交通安全週間を前に実証実験 声かけデバイスで62.5%の児童の飛び出し行動を抑制

金沢大学融合研究域融合科学系の森崎裕磨助教とイーデザイン損害保険株式会社（取締役社長：桑原茂雄）の共同研究グループは、小学生の交通事故の削減に向けて、通学路の危険箇所マップ「もしかマップ」の取り組みの一環として、『おまもりもし子実証実験』を実施しました。

イーデザイン損保は、事故時の安心だけでなく事故のない世界そのものを共創することを目指しており、その取り組みの一環として、金沢大学と合同で通学中の自動車事故を削減する「もしかマップ」を2022年4月より開始しました。その後、さらなるアプローチとして、加速度に着目し飛び出しを抑制するような、ランドセルに付ける小型のアラートデバイス『おまもりもし子』を開発、実証実験を行いました。

子どもの交通事故の増える10月に先駆け、秋の交通安全週間を前にした2023年9月7日（木）～9月20日（水）に実施した実証実験では、東京都中野区立江原小学校1年生 約60名を対象に、児童が駆け出す瞬間を加速度から検知し、音によるアラートで駆け出しを抑制できるかを検証しました。

### ◆実験の概要

- 期間：前半：2023年9月7日～20日／後半：2023年9月25日～10月6日
- 場所：東京都中野区立江原小学校の通学路及び周辺路上
- 対象：東京都中野区立江原小学校1年生 約60名（前半30名・後半30名）

その結果、デバイスからアラートを鳴らすと児童の62.5%の駆け出し回数に影響があったことが分かり、飛び出し行動の抑制が確認できました。9月25日（月）以降は、GPS連動で事前に設定した危険エリアに入った場合に音で注意喚起を行い、事故防止への効果を検証しています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

#### ■研究内容に関すること

融合研究域融合科学系 助教  
森崎 裕磨（もりさき ゆうま）  
電話：076-264-6389  
E-mail：morisaki@staff.kanazawa-u.ac.jp

#### ■広報担当

融合系事務部総務課企画総務係  
荒井 創（あらい つくる）  
電話：076-264-5920  
E-mail：yugosomu@adm.kanazawa-u.ac.jp